

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成27年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)  
年間(4月～3月)

施設名	秋川橋河川公園	指定管理者	あきる野市観光協会(五日市支部)
指定期間	平成26年4月1日から 平成29年3月31日まで	担当課	観光まちづくり活動課

## 1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画(A)	実績(B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開園日数(日)	305	289	94.8%	
	延べ利用者数(人)	75,000	65,000	86.7%	
収支状況	収入	指定管理料(円)	—	—%	
		利用料金収入(円)	52,000,000	48,622,004	93.5%
		自主事業収入(円)	—	—	—%
		その他の収入(円)	13,000,000	12,736,200	98.0%
	収入計(円)		65,000,000	61,358,204	94.4%
	支出	人件費(円)	17,600,000	17,912,311	101.8%
		維持管理経費(円)	3,000,000	3,401,706	113.4%
		自主事業関係経費(円)	—	—	—%
		その他の支出(円)	17,300,000	17,350,673	100.3%
	支出計(円)		37,900,000	38,664,690	102.0%
収支(収入-支出)(円)		27,100,000	22,693,514		

### 指定管理者の自己評価(改善点、その他特記事項)

<b>【開園日数・利用者数について】</b> 台風による臨時休業及び下半期の利用者減少により、開園日数・利用者数ともに減少した。	<b>【事業の実施状況について】</b> 計画に基づき事業を実施した。	<b>【収支状況について】</b> 開園日数、利用者数が減少し、収支は前年比84.6%となった。
---	--	---

### 所管課の評価(指摘事項)

<b>【開園日数・利用者数について】</b> 悪天候による臨時休業及び下半期の利用者減少により開園日数・利用者数は減少しており、秋から閑散期における新たな集客方法を検討する必要がある。	<b>【事業の実施状況について】</b> 計画に基づき事業を実施しており、評価できる。	<b>【収支状況について】</b> 昨年に比べて収支は減少しているものの、継続的な黒字運営を達成している点は評価できる。
---	--	---

## 2 チェック項目

評価項目・評価事項(数値目標)		確認資料等	指定管理者の 自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の 維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	実地	適正・要改善	適正・要改善

施設・設備の維持管理	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	人員配置計画、実地	適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	1回/年 研修マニュアル	実施回数1回 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	実地	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

### 3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）	<p>台風による臨時休業及び秋以降の利用者数減少により、年間の開園日数・利用者数は減少した。収益については、昨年に引き続き水光熱費等の支出削減に努める一方、自動車利用の来場者が減少し、環境衛生協力費（駐車料金）収入は昨年比 91.5%と減少した。</p> <p>施設運営に関しては、平成 26 年度に安全管理マニュアル、作業手順マニュアルを改訂し今年度から本格的な実施を開始した。各マニュアルに基づき利用者及び従業員の安全管理を図るとともに作業効率の向上を図った。</p>
所管課による所見（指摘事項など）	<p>利用者数については、昨年比 76.5%と減少しており、今後は天候リスクの少ない秋から閑散期における新たな集客方法を検討する必要がある。</p> <p>収支状況については、継続的な黒字運営を達成している点は評価できるものの、環境衛生協力費（駐車料金）収入の減少については、今後、対応策を検討する必要がある。</p> <p>施設運営については、適切な人員配置及び労務管理を達成するとともに安全管理マニュアル、作業手順マニュアルを改訂し、来園者の安全確保や作業効率の向上を図るなど積極的に運営状況の改善に努めており、評価できる</p>